

SEISA Africa Asia Bridge 2022開催にあたって

一般社団法人 星槎グループ会長 宮澤 幸子

『SEISA Africa Asia Bridge 2022』主催者あいさつ

2015年に初めて開催しました、このSEISA Africa Asia Bridgeも皆さまのご理解とご協力により、8回目を迎えることができました。昨年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響下ではございましたが、オンラインを活用して開催する中で、子どもたちの小さな工夫や行動が重なり大きな力となって、さらに遠くニューヨークのUNDP(国連開発計画)・ウガンダ共和国・セネガル共和国・ミャンマー連邦共和国などの方々を含めて約37,000人にもおよぶ多くの人々が参加して関わり合うことで、新しい世界への扉を開くことができました。

このイベントを開催する前は、私たちが子どもたちに提案できるグローバルな視座での学びも、まだまだ漠然としており、目の前に起こる変化についても自分事には至っていない様子が見られました。しかしながら、回を重ねるごとに子どもたちの中に当事者意識が芽生え、今では日本を代表するESD(持続可能な開発のための教育)の取り組みとして評価されるまでに成長いたしました。創設者の故宮澤保夫名誉会長は、このイベントを通して子どもたちの心の中に共生の種をまきたいと願っていました。その種は見事に発芽し、中には大輪の花を咲かせているものもあるように思います。今年も故宮澤保夫名誉会長が「Bridge=懸け橋」と名づけたこのイベントの意義を今一度見つめ直しながら、次世代を担う子どもたちにバトンが手渡されることを願っています。

距離の遠さよりも心の近さを持つ若者たちが、日本においても、アフリカ・アジア・太平洋の諸国においても、より多く育ち、平和作りや国家作りに仲間として繋がりが携わってくれるよう、皆様のご理解ご協力をいただければ幸いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

SEISA Africa Asia Bridge 2022実行委員長(元JICAアフリカ担当理事) 松岡 和久

『宮澤保夫名誉会長の教育理念を具現化するSEISA Africa Asia Bridge』

このSEISA Africa Asia Bridgeという取り組みは、「人を認める」「人を排除しない」「仲間をつくる」の3つの約束を守っている星槎の仲間たちが、1年という月日をかけてアフリカ・アジアのことに共に学び・共に考え・共に行動した成果を発揮する場です。合わせて、2030年までにSDGs(持続可能な開発のための17の国際目標)を達成することによって世界が目指している社会とはどのようなものかを深く理解できる機会でもあります。

現在、米中対立やウクライナ紛争等、予測が不可能な事態が発生しております。このような時代であるがゆえに、私達は真の意味での共生とは何か、持続可能な社会とは何か、平和とは何かということを考える必要があるのではないのでしょうか。まさに、「世界の平和をめざし人々がお互いを認め合い共に生きる世界をつくる」という星槎の理念に基づく教育を受けた人材が活躍しなければならない時代です。

2022年は昨年と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実際に会場へ足を運んでいただくのとオンラインとのハイブリッド型での開催となります。星槎の仲間の熱意と努力により、国内外の数多くの方々に参加できるというオンラインの利点を大いに活用し、さらに幅と深みを増したSAABとなることを期待しております。

ご参加の皆様におかれましては、このSAABという活動が故宮澤前会長の教育理念を具現化したものであることをご理解いただくとともに、星槎の精神を有する子どもたちが日本や世界の各地へ広がり、「世界共生」の考え方を伝えてゆく姿を想像しながら、さまざまな展示や各種催しを体感していただければ幸いです。

オンラインからの

参加方法 ▶

公式HP <https://seisasaab.com>



公式SNS

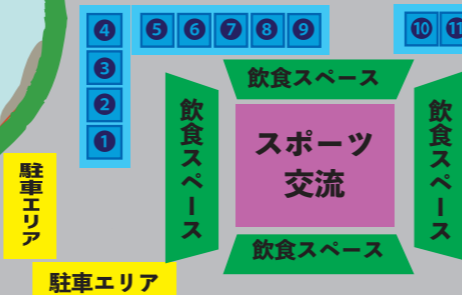


ダラウンド

飲食ブース

- 1 崎陽軒
- 2 ハルコロ
- 3 もったいない食堂
- 4 打鼓音
- 5 はちぼしカフェ
- 6 u3doco
- 7 FOFO CATERING SERVICE
- 8 D&S catering world
- 9 mika バインミー
- 10 cafe Le Havre
- 11 韓国料理ストア
- 12 SINKPIA

校舎



スポーツ交流エリア

3x3
バスケットボール
5chにてライブ中継!

鳥海連志選手他

BEEFMAN



参戦!

SPECIAL GUESTS

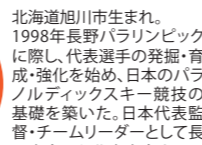
パラリンピアン夢トーク

14:00~14:50

パラスポーツを社会に根付かせるため、実業団チームを結成し、多くの世界チャンピオンを輩出した。今後のパラスポーツ発展と魅力について熱く語り合う!



荒井 秀樹



有安 諒平

北海道旭川市生まれ。1998年長野パラリンピックに際し、代表選手の発掘・育成・強化を始め、日本のパラレディックススキー競技の基礎を築いた。日本代表監督・チームリーダーとして長野大会から北京大会までの7大会連続でメダリストを輩出。

(株)東急イーライフデザイン 杏林大学医学部統合生理学教室(博士課程)所属。東京2022/パラリンピック競技大会ポート(PR3Mix4+)日本代表12位北京2022/パラリンピック競技大会 クロスカントリースキー(VI)日本代表7位入賞。

SDGsの始まりの日本人

11:00~11:50

新しい資本主義を考える
SDGsの始まりは日本人?ノーベル経済学賞に一番近い日本人と言われていた宇沢弘文。彼が提した社会的共通資本という理論がSDGs 17のゴールをゆるやかにつなぐ考え方で、ゆたかな社会に欠かせないものを社会的共通資本として守っていくことがゆたかさにつながる。経済成長では測れないものを大切にしている経済学から見える未来を一緒に考えてみませんか?



占部まり

内科医・宇沢国際学館
代表取締役

チャリティーくじ

ブースを周って
スタンプを探そう!



※おひとり様1回限り

イベント開催にあたってのコロナウイルス感染予防対策

事前対応

当日対応



自宅で

ご来場いただく際には
自宅で検温をお願いします。



会場で

検温スペース
で定期的な
チェックを行います。



会場で

医療スタッフを
配置し、必要に応じて
メディカルチェックを
行います。



会場で

こまめに
消毒・換気を
行います。



会場で

会場ではマスクを着用し、
こまめに手指の消毒を
行います。



SDGs未来都市・横浜

THE 8TH

SEISA Africa Asia Bridge 2022

11.12 SAT 10:00-16:00

星槎が掲げる「共生社会の実現」そのヒントがSAAB2022にあります。

アフリカそしてアジアは世界の中でも、最も変化の大きな地域として注目をされており、人々が持つ多様性にもまた、共生への大きなヒントが隠されています。人類の歴史・伝統・文化…。まだまだ知らないアフリカ、アジア、太平洋の島国を知り、お互いを認め合い、そしてつながる「架け橋」に、我々はなりたい。このイベントを通して、日本とアフリカ、アジア、太平洋の国々の関わりが、さらに強くなることを願っています。

- 共催 一般社団法人 星槎グループ 公益財団法人 世界子ども財団 学校法人 国際学園 学校法人 星槎 SEISA Africa Asia Bridge 2022 実行委員会
- 後援 外務省 文部科学省 神奈川県 小田原市 芦別市 箱根町 大磯町 横浜市国際局 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会 小田原市教育委員会 芦別市教育委員会 大磯町教育委員会 独立行政法人国際協力機構 横浜センター ヨコハマ SDGs デザインセンター
- 協力 学校法人 星槎子ども園 KIDS planet 社会福祉法人 星槎 星槎学園
- 開催場所 星槎高等学校 横浜市旭区若葉台 4-35-1 045-442-8686 (代表) 星槎グループHP: <https://www.seisagroup.jp/>



公式 Facebook



公式 Instagram



公式 Twitter



公式 LINE